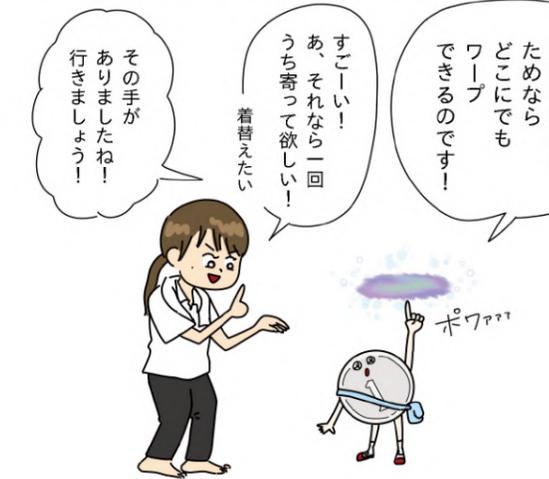
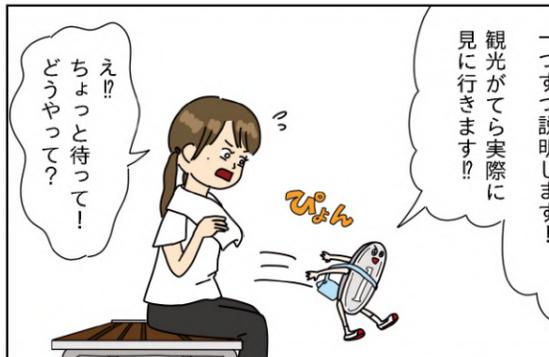
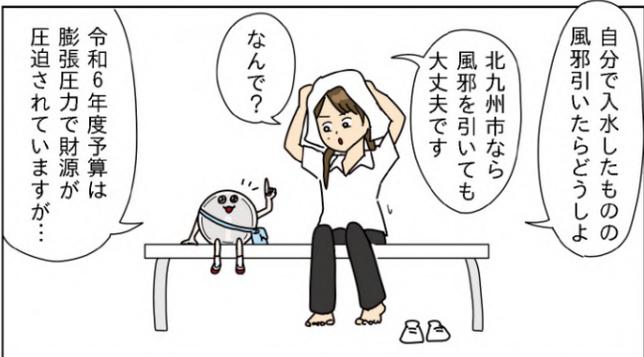
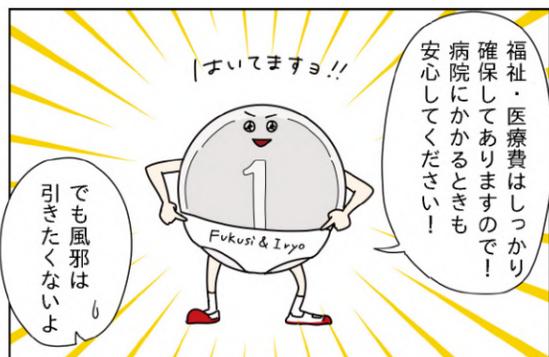
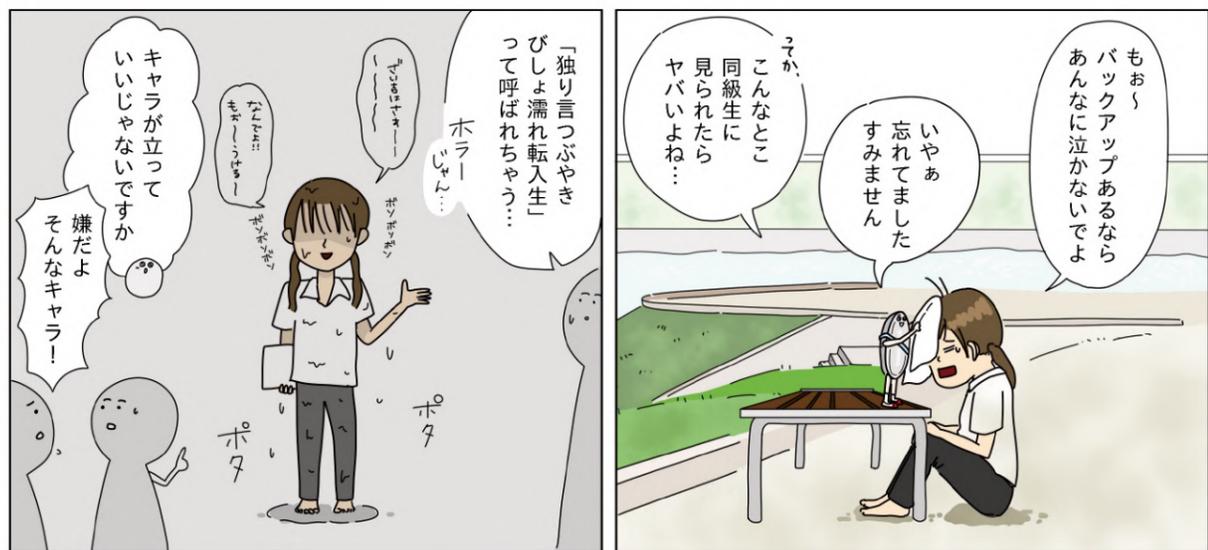


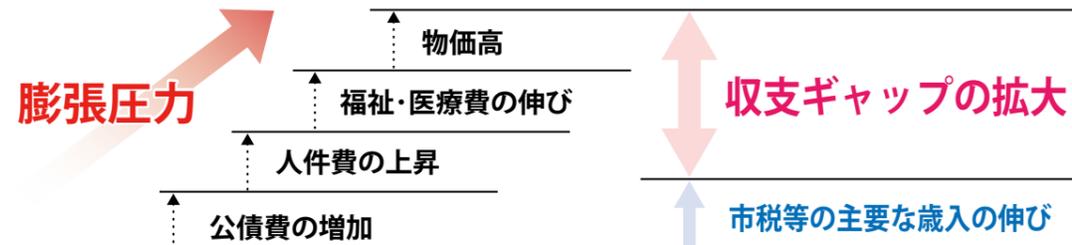
# 令和6年度予算



## 令和6年度予算編成の背景

令和6年度予算の編成にあたっては、物価高や福祉・医療費、人件費、公債費の上昇などの予算に対する膨張圧力により、市民サービスに必要な固定的経費が大きく増加しました。その一方で、市税や地方交付税等の主要な歳入の伸びが十分でないことなどにより、収支ギャップが拡大し、近年でも厳しい予算編成となりました。

### 【令和6年度予算編成における膨張圧力】



### 【収支ギャップ拡大の推移】

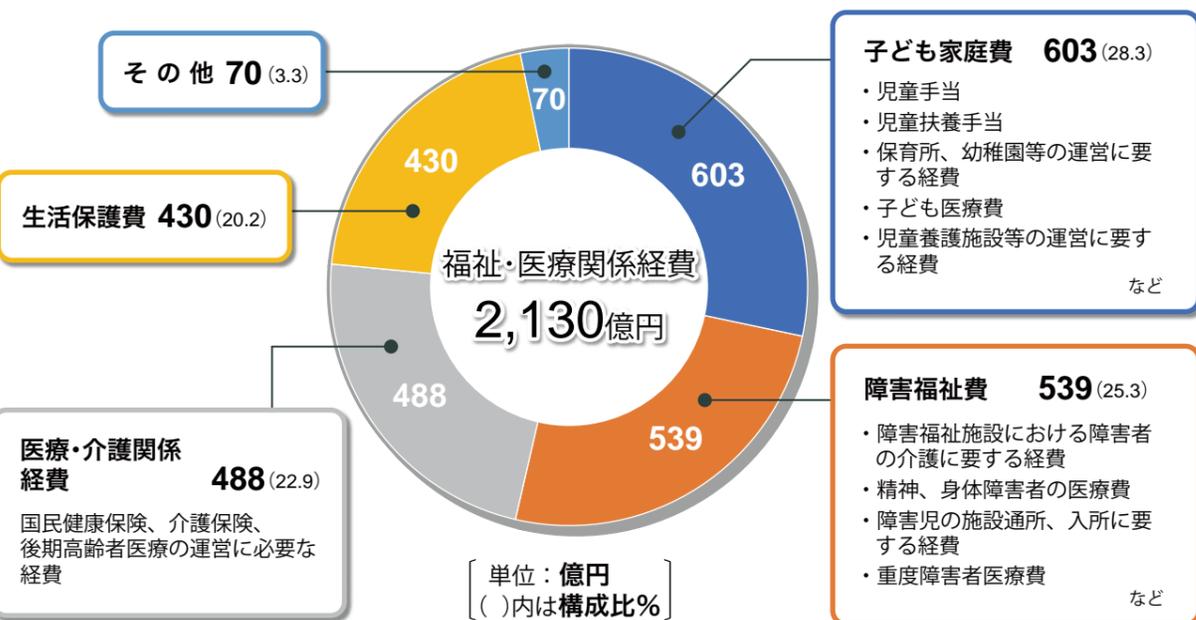
### 【市税等の主要な歳入と義務的な経費の推移】

義務的な経費：福祉・医療費、  
人件費、公債費



## 令和6年度当初予算 福祉・医療費の内訳

特に伸びが大きいのが、福祉・医療費であり、児童福祉、障害者福祉にかかる費用や医療に係る経費など、市民生活にとって必要不可欠なサービスを提供しています。



令和6年度予算

令和6年度予算

空港アクセス強化事業

1億2,000万円

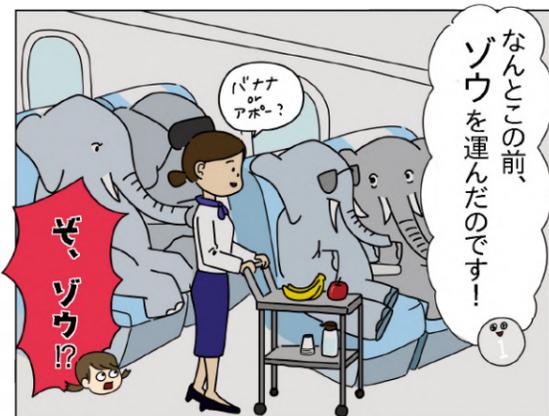
バス、鉄道などの多様な交通手段を生かした空港アクセス強化を目的として、エアポートバスの増便(小倉・朽網)や鉄道との乗継強化、バス待合環境向上などの取組を実施します。



次世代航空物流構築事業

6,500万円

2024年問題や脱炭素社会など、次世代物流の構築を目的として、国内貨物定期便の集貨支援や半導体貨物への重点的な集貨支援の取組を実施します。



次世代空港機能強化検討事業

1,500万円

滑走路延長を機に、長距離運航便の就航に向け、空港の機能強化を目的として、航空燃料タンクの増設などの必要な施設整備に関する調査を実施します。

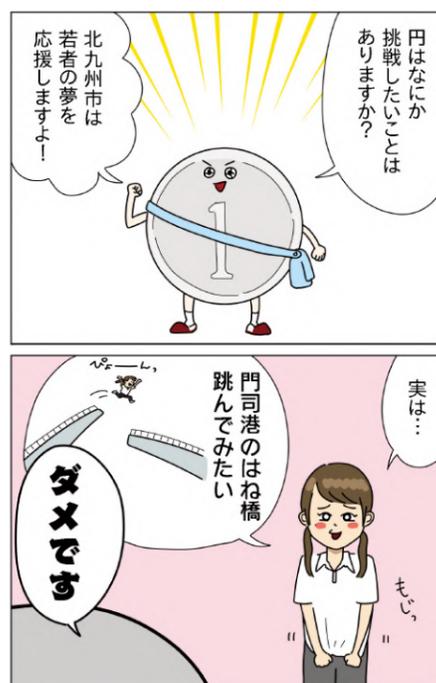


(1) 若者を応援する

シン・ジダイ創造事業 (若者のチャレンジ応援)

5,000万円

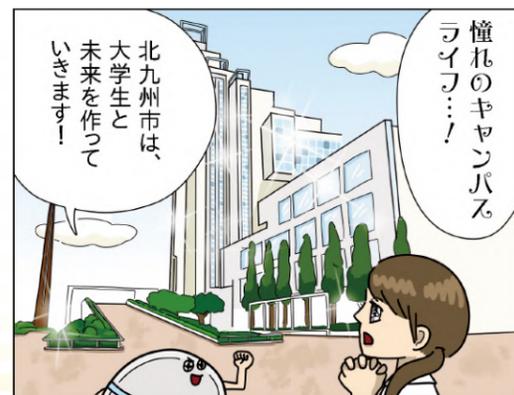
「日本一若者を応援するまち・北九州市」に向け、街の活性化やポテンシャルの開花を体現する若者の発想と創意工夫、チャレンジに基づくプロジェクトの遂行を街ぐるみで支援します。



北九州市立大学への支援

23億9,900万円

北九州市の地方創生や国際化、デジタル化に資する大学の実現に向けて、優秀な人材の輩出など、地域の知的基盤の向上等に向けた支援を行うほか、大学施設の老朽化対策等を実施します。



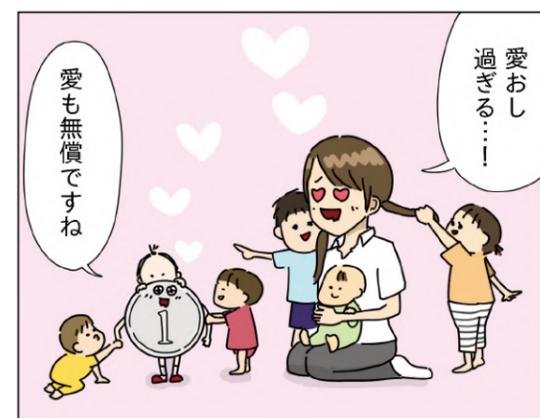
(2) 子どもと子育てを応援する

第2子以降の保育料無償化

8億3,200万円

多子世帯の子育てを支援するため、第2子以降の保育料の無償化を実施します。

※市が直接徴収している保育料収入の減(5億5100万円)と合わせ、13億8300万円を支援



学校給食魅力向上事業

2億3,000万円

令和6年度から令和7年度にかけて「スチームコンベクションオープン」を未設置校(54校)に設置し、「焼く」「蒸す」等の多彩な献立を提供できる環境を整備することにより、学校給食の魅力向上を促進します。



## 重点戦略

# 3. 企業の付加価値向上を支援する

## 生産性向上、事業変革に向けた ロボット・DX推進事業

2億4,900万円

市内中小企業の付加価値向上に向けて、ロボット・DX推進センターを中心に、事業変革・新ビジネス創出に向けた支援を強化し、地域をけん引するモデル企業を創出するとともに、それに続くような企業のすそ野を拡大します。



## 「稼げるまち」への原動力 ～未来産業推進事業～

1億3,100万円

「稼げるまち」の実現に向け、北九州学術研究都市を中心に、半導体や宇宙、次世代自動車などの未来産業について、研究開発や人材育成、企業競争力の向上などに取り組み、先端企業の集積や地域産業の高度化、新ビジネスの創出を推進します。

## バックアップ首都推進事業

2,300万円

東京での企業誘致イベントの開催や企業の経営層へのアプローチの強化により、本社機能やマザー工場の誘致、IT企業の開発拠点の集積を進め、バックアップ首都を推進します。



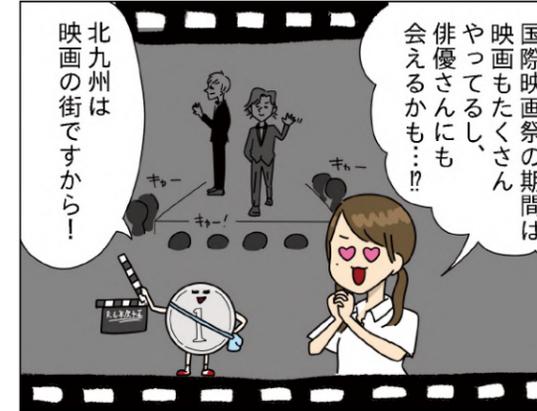
## 重点戦略

# 4. 街ににぎわいと楽しさを生む

## エンターテインメントによる にぎわいづくり推進事業

5,000万円

国内のみならずアジアを中心として、グローバルに「日本一若者を応援する街・北九州」を発信するため、エンターテインメントの力を活用したプロモーションや北九州国際映画祭を展開します。



## 紫川ナイトスペクタクル事業

2,000万円

インバウンド等の来街者によるナイトタイムエコノミーの創出と、新たな出会い・交流の場の提供により、市民の暮らしの質の向上を図るため、紫川周辺の高質な空間等のポテンシャルを活かし、光・音のショー等のナイトコンテンツを提供します。



## NEWツーリズム創生事業

4,000万円

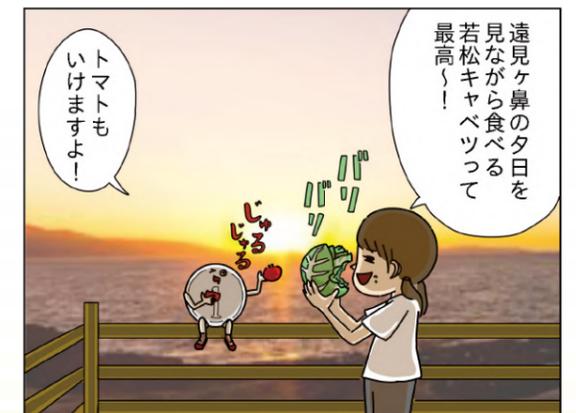
地域の歴史や文化を体感できる「祭り」や、市外からの来訪者が大半を占める「コンサート」を新たな観光コンテンツとして磨き上げ、国内外からの観光客の誘致を促進します。



## 若松北海岸の自然を活かした 体験型・滞在型観光の促進

300万円

夕日の名所で知られる「遠見ヶ鼻」に代表される自然景観、新鮮な農水産物の産地としての魅力など、観光地としてのポテンシャルを有する若松北海岸について、地域事業者等の発意による自然を活かした体験型・滞在型観光を促進します。



令和6年度予算

令和6年度予算

# 重点戦略

## 5.街の老朽化等へ対応する

### 商店街等の火災防止と安心して買い物できるまちづくりの支援事業

5,700万円

### 商店街等における火災及び自然災害からの再開支援事業

4,800万円

令和6年1月に小倉北区魚町において発生した大規模火災について、「北九州市商店街の空き店舗の活用に関する補助金」により被災事業者の店舗移転及び営業再開の支援を実施します。

### 簡易型自動消火装置設置補助事業

900万円

木造商店街密集地域等にある木造飲食店の防火対策として、「簡易型自動消火装置」の設置について補助を実施します。



### 市有建築物の老朽化対策

91億3,900万円

学校、市営住宅をはじめとした市有建築物における安全・安心を確保するため、外壁や屋上防水等の老朽化対策を実施します。



### 若戸大橋・若戸トンネルの強靱化

9億1,100万円

若戸大橋・若戸トンネルにおける、日常的な維持管理や早急に補修が必要な箇所の修繕等を行うとともに、若戸大橋について、法定定期点検及び劣化が進んでいる取付橋や舗装の補修、橋梁の塗替え等を実施します。

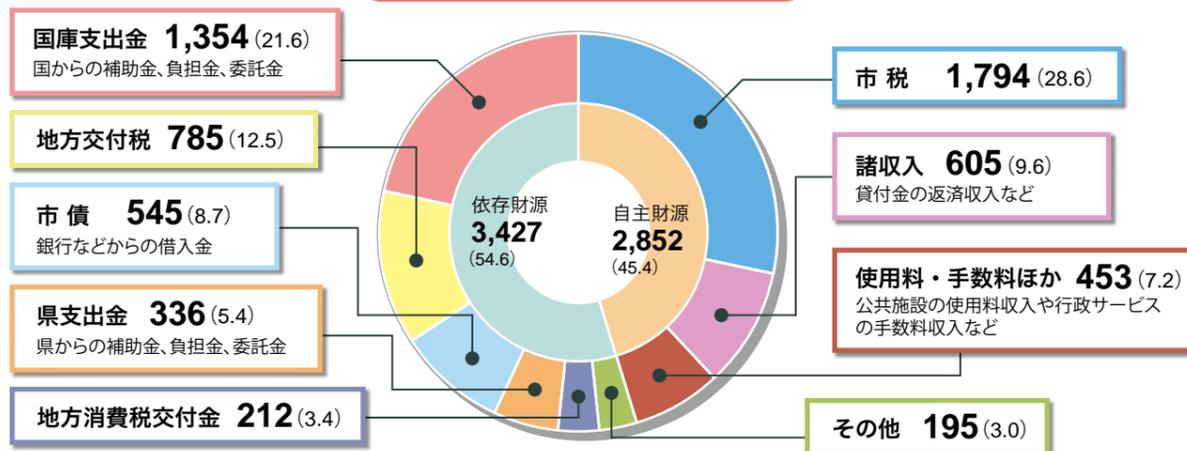


## 令和6年度当初予算(一般会計)の内訳

### 歳入予算の内訳

歳入総額 6,279億円

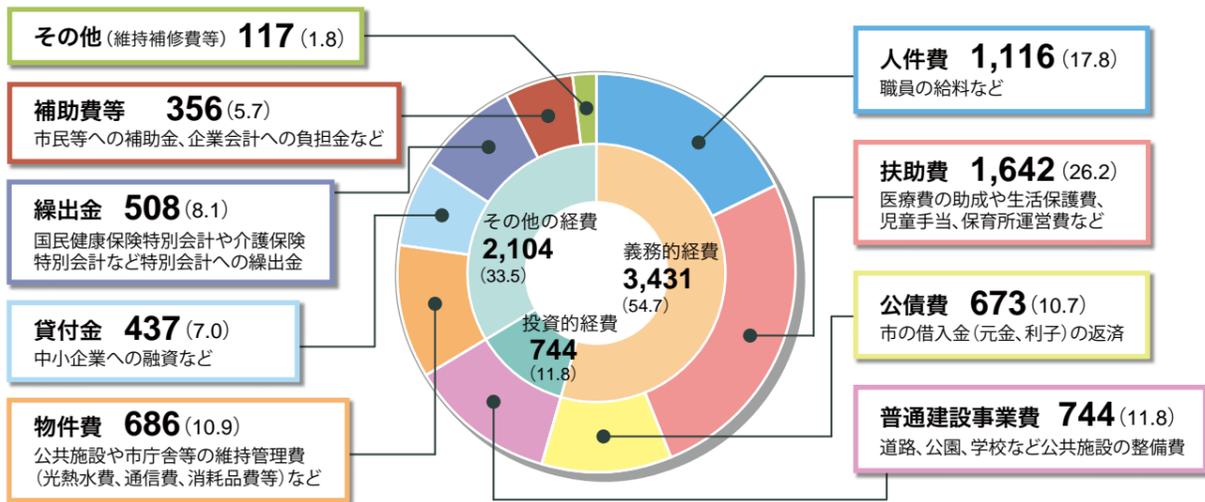
[単位:億円]  
( )内は構成比%



### 歳出予算の内訳

歳出総額 6,279億円

【性質別】人件費、扶助費などの「性質」に従って分類すると次のようになります。



【歳出1人当たりの内訳】...約68万円 ※人口は92万1044人(令和5年12月31日現在の住民基本台帳人口)で計算。

